議案等の件名・主な内容　及び　質疑・賛成、反対意見や　各議員の態度

同=同意　議=議案　陳=陳情　報=報告

会派名	市政クラブ								公明党		共産党	市民クラブ	高志クラブ	青政会
議員氏名	杉浦康憲	神谷利盛	柳沢英希	浅岡保夫	杉浦辰夫	神谷直子	北川広人	鈴木勝彦	小嶋克文	小野田由紀子	内藤とし子	黒川美克	幸前信雄	柴田耕一

種類番号	件名	議案等の主な内容	主な質疑及び賛成・反対意見等 議案は質疑を優先。陳情は委員会での賛成・反対。 ※委員会で対立意見がないものは、本会議の賛成・反対。	結果														
12月定例会　議案等				○=賛成・採択・同意　●=反対・不採択・不同意 △=趣旨採択														
議第89号	平成30年度高浜市一般会計補正予算（第6回）	歳入歳出予算総額に1億5,013万円を追加し、174億1,329万2,000円とする。●債務負担行為:総合窓口・総合住民情報システム元号対応業務委託を始め6事業追加。地方債:幼稚園空調設備設置事業を追加、1事業で限度額増額。●歳入○増額:県介護施設等整備費補助金7,000万円等。○減額:県子育て支援対策事業費補助金1,795万6,000円等。●歳出○増額:地域医療介護総合確保基金事業7,000万円等。○減額:財政調整基金積立金2,897万1,000円等。	問　介護施設等整備事業費補助金の概要は。　答　特別養護老人ホーム高浜安立荘の多床室をプライバシーに配慮して個室化するためのもの。問　みんなでまちづくり事業は。　答　（仮）若者会議を市制50周年の市民検討組織の一部に立ち上げるもので、将来のまちづくりの人材育成に繋げていきたい。　問　認定こども園の地中埋設物負担金は。　答　移管事業者で進められ、工事中の地代は無償貸付。埋設物の一時的置場がなく、今回補正になった。補助金の増減は、国・県の負担割合と連動。	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	●	○	○	○
議第90号	平成30年度高浜市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2回）	歳入歳出予算総額に665万4,000円を追加し、37億3,601万5,000円とする。●歳入○増額:職員給与費等繰入金637万6,000円等。●歳出○増額:過年度療養給付費等負担金返還金4,840万円等。○減額:国民健康保険支払準備基金積立金4,386万3,000円等。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第91号	平成30年度高浜市公共下水道事業特別会計補正予算（第2回）	歳入歳出予算総額に163万3,000円を追加し、17億2,849万円とする。●歳入○増額:一般会計繰入金163万3,000円。●歳出○増額:給料・職員手当等172万4,000円。○減額:共済費9万1,000円。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第92号	平成30年度高浜市介護保険特別会計補正予算（第2回）	●保険事業勘定:歳入歳出予算総額に5,534万4,000円を追加し、27億232万9,000円とする。◎歳入○増額:介護サービス給付費負担金（国・基金・県）4,231万2,000円等。○減額:職員給与費繰入金34万3,000円。◎歳出○増額:保険給付費7,209万1,000円等。●介護サービス事業勘定:歳入歳出予算総額から79万6,000円を減額し、4,537万3,000円とする。◎歳入○増額:介護プラン作成手数料319万8,000円。○減額:職員給与費繰入金541万円。◎歳出○増額:職員給与13万円。○減額:職員手当等・共済費92万6,000円。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第93号	平成30年度高浜市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）	歳入歳出予算総額から270万2,000円を減額し、5億564万6,000円とする。●歳入○減額:職員給与費等繰入金270万2,000円。●歳出○減額:給料・職員手当等270万2,000円。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第94号	平成30年度高浜市水道事業会計補正予算（第2回）	●収益的支出から排水及び給水費等1,116万1,000円を減額し、8億3,953万4,000円とする。●議会の議決を経なければ流用できない経費として職員給与・手当等1,116万1,000円を減額し、5,476万7,000円とする。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第95号	高浜市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	人事院勧告に伴い、期末手当の年間支給割合を3.30月分から3.35月分に引き上げる。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第96号	高浜市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	人事院勧告に伴い、期末手当の年間支給割合を3.30月分から3.35月分に引き上げる。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議第97号	高浜市職員の給与に関する条例の一部改正について	人事院勧告に伴い、特に若年層に重点を置いて行政職給料表を引き上げる（職員1人当たりの平均で月額746円）。期末・勤勉手当の年間支給割合を4.40月分から4.45月分に引き上げる等。	質疑なし	可決	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
報第９号	専決処分の報告について	市有自動車の物損事故で、相手方に損害賠償として17万2,886円を支払うことを決定した。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
陳第14号	国に対して「待機児童と保育士不足解消のための実効性のある対策を求める意見書」の提出を求める陳情	高浜市議会から国に対して「待機児童と保育士不足解消のための実効性のある対策を求める意見書」の提出を求める。	反対　国には、幼保所管省庁の一本化及び権限と財源の地方委譲を求めるべき。　賛成　新たな保育需要増加が予想され、施設整備と保育士不足を解消しなければ、問題解決はない。　趣旨採択　国も現在、保育士の処遇改善に財源を含め努力している。	趣旨採択	△	△	△	△	△	△	△	－	△	△	○	△	●	△
陳第15号	国に対して「放課後児童支援員等の処遇改善事業に係る事務等の簡素化を求める意見書」の提出を求める陳情	高浜市議会から国に対して「放課後児童支援員等の処遇改善事業に係る事務等の簡素化を求める意見書」の提出を求める。	反対　児童クラブ以外の事業運営もあり、運営費増額が必ずしも所遇改善にならない。　賛成　賃金保障が低いままで、資格猶予期間が平成31年末。一刻も早い解消が必要。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	●	●	●
陳第16号	国に対して「学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書」の提出を求める陳情	高浜市議会から国に対して「学童保育指導員の資格と配置基準の堅持を求める意見書」の提出を求める。	反対　自治体からの緩和要請に反対するのは、現場の声を聞かないことになる。　賛成　規制緩和が行われると、指導員が従うべき基準や予算措置等、学童保育の保障ができなくなる。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	●	●	●
陳第17号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市町村の福祉施策として国保の改善、税の徴収・滞納問題対応、福祉医療の充実を求めると共に、高浜市議会から国及び愛知県に意見書・要望書の提出を求める。	反対　窓口での18歳までの医療費無料制度創設は、還付方式で負担が見える化を。最低保障年金に、消費税を莫大につぎ込むべきでない。福祉医療全ては、限られた財源下で賛成できない。　賛成　18歳までの医療費無料化は重要な要望。国保の平等割、均等割を廃止し、協会健保並みへの引き下げを提案している。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	●	●	●
陳第18号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情	市町村の福祉施策として介護保障、生活保護、福祉医療、子育て支援、障害者（児）施策、予防接種、健診・検診の充実を求めると共に、高浜市議会から国及び愛知県に意見書・要望書の提出を求める。	反対　社会全体で支える制度で、低所得者への配慮はされ、学習支援等、既に取り組んでいる。　賛成　生活保護の人は国から保険料・利用料が出るが、低所得の人は払う必要があるので、一刻も早い減免制度実施を。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	●	●	●
陳第19号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情	平成31年10月の消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書を政府に送付することを求める。	反対　少子高齢化が進む中で、社会保障費の確保には不可欠。将来へのツケ回しはできない。　賛成　社会保障・少子高齢化対策というが、実際は違っているし、ポイント還元等の混乱を招くような政策は中止すべき。	不採択	●	●	●	●	●	●	●	－	●	●	○	●	●	●

※鈴木勝彦議員は議長職のため、表決権はありません。ただし、議案第82号は特別多数議決（出席議員の3分の2以上の者の同意）のため、議長も裁決に加わっています。